

# 2018年度JQAA総会 資料

於 日本生産性本部

2018年4月23日（月）

1. 開会の辞
2. 主催者挨拶
3. 会員数確認
4. 議長選出

## <議案>

### 1号議案：2017年度活動および収支報告の承認

- ① 2017年度各部活動
- ② 2017年度収支報告

### 2号議案：2018年度活動計画の承認

- ① 活動基本方針
- ② 組織体制
- ③ 各部活動計画
- ④ 2018年度収支計画

### 3号議案：役員を選任

- ① 役員候補受付・紹介
- ② 役員選出
- ③ 新役員代表挨拶

## 2017年度活動及び収支報告の承認

- ① 2017年度各部活動成果
- ② 2017年度活動収支報告

企業現場の改革支援、地域協議会の活性化支援を実践していくための2年目と位置付け活動した。

## ■ 埼玉県経営品質協議会関係

- 埼玉県経営品質協議会主催「～実例から学ぶ経営革新～顧客価値経営セミナー導入編（全4回）」を支援し、当部運営委員4名が講師を務めた。

回	開催日	テーマ	内容	講師
1	5月17日(水)	顧客本位の戦略策定	お客様の立場で考える	谷口
2	6月14日(水)	新規事業開発	独自性を発揮する	橋本
3	7月12日(水)	人材育成・組織開発	人を活かす	末吉
4	8月23日(水)	基幹プロセス改革	現場力を育てる	青柳

- 運営委員の谷口氏、田原氏が、埼玉県経営品質協議会のシニアアドバイザーに就任した。

## ■ 富山県経営品質協議会(以下、TMQA)関係

- 協議会としての活動停止により、講座は実施できなかった。

## ■ 認知拡大活動

- 改革支援部の認知度を向上させるため、大手企業、中小企業など数社を回り、認知拡大活動を行った。
- 長野県の自治体、及び長野県の労働組合の研修（営業：須永氏、講師：末吉氏）を行った。
- 上記2組織の研修実績を元に活動報酬、交通費、宿泊規程を整備した。

## ■ 第5期AAP（アドバンスド・アセスメント・プログラム）

➤ 岡本JQAA顧問に講師をお願いし、2017年8月～10月まで午後半日の日程で計4回開催。受講者数19名。

➤ アセスメントを深く理解するために、下記のテーマで実施。

第1回：アセスメントの準備、第2回：レポートの読み方、第3回：アセスメント～対象の掘り下げ 第4回：アセスメントとフィードバック

## ■ アドバンスド・アセスメント勉強会（AAP特別編）

➤ 2018年2月22日（木）19時開催。コーディネーター：岡本JQAA顧問

➤ 第5期AAPメンバーに、JQACの協力によりJQA受賞企業関係者を交えて、27名で、2つのテーマでグループディスカッションを行った。

➤ ディスカッションテーマ

① インサイト（洞察）思考のアセスメントとは

② イノベーション推進者がやらなければならないことは

2018年3月1日発行 通巻25号

## 実践！経営革新 Assessors Journal

経営品質アセッサージャーナル

アセッサーと経営革新に取り組む人のための情報誌

### 第25号

常識の壁を突き破り、独自の価値創造に挑戦し続ける元気企業 伸びる組織は経営者だけでなく社員も考えて行動していた！



株式会社スーパー・コート  
社会福祉法人 那波会  
株式会社山のせ  
電ノック日本全薬工業株式会社

職務満足・見通し・ワクワク  
「アセスメントの思考法」

日本経営品質賞判定委員長 高橋 伸夫  
MPC代表取締役 岡本 正哉

株式会社コマーム 小松 君恵  
やまがた経営品質研究会 松田 清  
株式会社山のせ 早藤 重志  
株式会社スーパー・コート 山本 健策  
社会福祉法人正友会 丸畑 望  
茨城県経営品質賞奨励賞受賞企業紹介～株式会社ヴィオーラ～ 三宅 邦之  
茨城県経営品質協議会

経営品質アセッサージャーナル

- 「常識の壁を突き破り、独自の価値創造に挑戦し続ける元気企業」と題し、従来の業界の常識に捉われることなく、独自商品・独自サービスを開発、素晴らしい成果を上げている企業・組織を採り上げた。地域企業を集中的に取り上げたことは効果的であった。
- 岡本JQAA顧問、高橋判定委員長に寄稿を依頼、また、カワムラモーターズ、日本全薬工業、ピアズなど受賞後の取り組みを掲載した。
- 今年度ご講演をいただいた和波先生、金川社長、舘岡先生、寺沢先生に講演内容を基に改めて寄稿を書き起こしていただいた。
- 販売実績（2018年3月末現在） 162冊

## ■ 講演会実績

- 開催数：4回実施（昨年より1回減少）
- 開催内容：次頁参照
- 参加人数：昨年に比べ1回あたりの参加人数は微増（27.8名⇒28.3名）

## ■ 総括

- 講演テーマ
  - ✓ 実践事例はやはり関心度が高く評価も高い。
- 参加人数
  - ✓ 1開催あたり、30名程度が常態化。
  - ✓ 講演テーマにより、参加人数にバラツキがある。

## ■ 課題

- 参加者を増やす
  - ✓ 経営品質協議会との連携強化による講演会の着実な展開
  - ✓ 参加者の裾野を拡大



開催日	5月24日	7月19日	9月21日	11月7日
講演 テーマ	『やる気と業績が劇的に変わる「辛勤力経営」のススメ』 ～社内ベンチャーから起業して失敗から学んだ企業経営の秘訣～	『激動の時代を乗り切るパワー集団づくりの極意!』 ～他人事を自分事に! 「してもらう能力」向上による組織活性化の実践 (SHIEN理論) ～	『組織における「働き甲斐とは何か」』～通説を知り、通説を超える思考へ～	『人を巻き込み、組織を動かすビジネスリーダープレゼン術』 ～経営品質を活用した風土改革の実例をもとに～
講演者	横河レンタ・リース株式会社 代表取締役社長  金川 裕一様	静岡大学 大学院教授/ SHIEN学会会長  舘岡 康雄様	東京大学大学院 経済学研究教授、 日本経営品質賞 判定委員長  高橋 伸夫様	公益財団法人 日本生産性本部 主席経営コンサルタント、テラメディア(株) 代表取締役 寺沢 俊哉様
参加者数 (JQAC個人会員)	31 (10)	31 (8)	37 (13)	14 (6)
内容満足度	100%	78%	93%	100%

## ■ 実践研究会実績

- 開催数：8回実施（計画通り）
- 参加者：メンバー7名（出席率52%）、運営委員7名（出席率71%）

## ■ テーマ

- 経営品質取り組みの有るべき姿とコンセプトの作り方、それに基づいた施策のブレイクダウン
- 自社の「目指す姿→課題→施策」の改善、追加提言。目標値の妥当性や加速アクション
- 組織変革に最適な経営上の顧客指標は何か。現指標の課題と別指標の可能性
- 共通価値観の確立方法。現課題を克服し全員共通価値醸成のための活動方法
- 方向性を大きく変えマインドリセットするような経営品質活動。ボトムアップによる風土変革
- 分社、委託が進むなかでの経営品質の維持、向上のための施策や部門アクション

# 広報部 2017年度活動報告

## 1. 集客支援活動

- JQAA通信を23回配信、情報発信と講演等の集客支援
- メルマガ登録者（アセッサー及びOB以外の方）は104名（前年比6名増）
- アセッサージャーナルの販売促進
  - ✓ 顧客価値経営フォーラムで最新25号を先行販売：59冊(会場)+5冊(AAP)販売 合計64冊
  - ✓ 3/1～JQAC(Web4冊+関西生産性本部51冊)、舘岡先生20冊、第一生命20冊、他3冊 合計98冊

## 2. 新Webサイトへの円滑な移行

- イベントテストを経て、6/23発信の7月講演会申込みより正式稼動
- 旧Webのトップページに新Web案内を掲載して誘導（円滑に移行するため、旧Webのサーバーレンタルを1年間延長）
- JQAA通信の記述内容を短縮化して見やすくし、リンクを多用して新Webの詳細情報へ誘導

## 3. JQAA運営体制

- 3月末の運営委員は69名（期初比2名増）
- アセッサー更新時、A3研修修了時にJQACと連携し紹介チラシを配布

# 2017年度収支報告

収入の部	
①講座・講演・研究会及び中小企業改革支援活動 講演（5回/年）、実践研究会（11期他）等	1,636,144
②広報・出版活動	180,900
③その他雑収入	142,513
合計	1,959,557
2. 支出の部	
①講座・講演・研究会及び中小企業改革支援活動	1,314,211
②広報・出版活動	248,845
③その他支出	211,070
合計	1,774,126
収支合計	185,431
3. 前期からの繰越金	1,542,092
4. 残高（繰越金）	1,727,523

## <残余資産>

144,766円

内訳）PC：1円、JQAAジャーナル在庫 144,765円（678冊分）

## 監査報告書

経営品質アッセサーフォーラム

理事長 道添 順一 様

2018年4月16日

監 事

吉川 博章

校條 亮治



## 2017年度会計監査

当監事は、経営品質アッセサーフォーラムの規約に基づき、  
2017年度(期間:2017年4月1日から2018年3月31日)における、  
同フォーラム活動に関わる会計報告書を監査した結果、会計処理は公正と  
認められる手続きによって行われていることを確認いたしましたので、  
その旨、監査報告いたします。

以 上

## 2018年度活動計画の承認

- ① 活動基本方針
- ② 組織体制
- ③ 各部活動計画
- ④ 2018年度収支計画

## <基本方針>

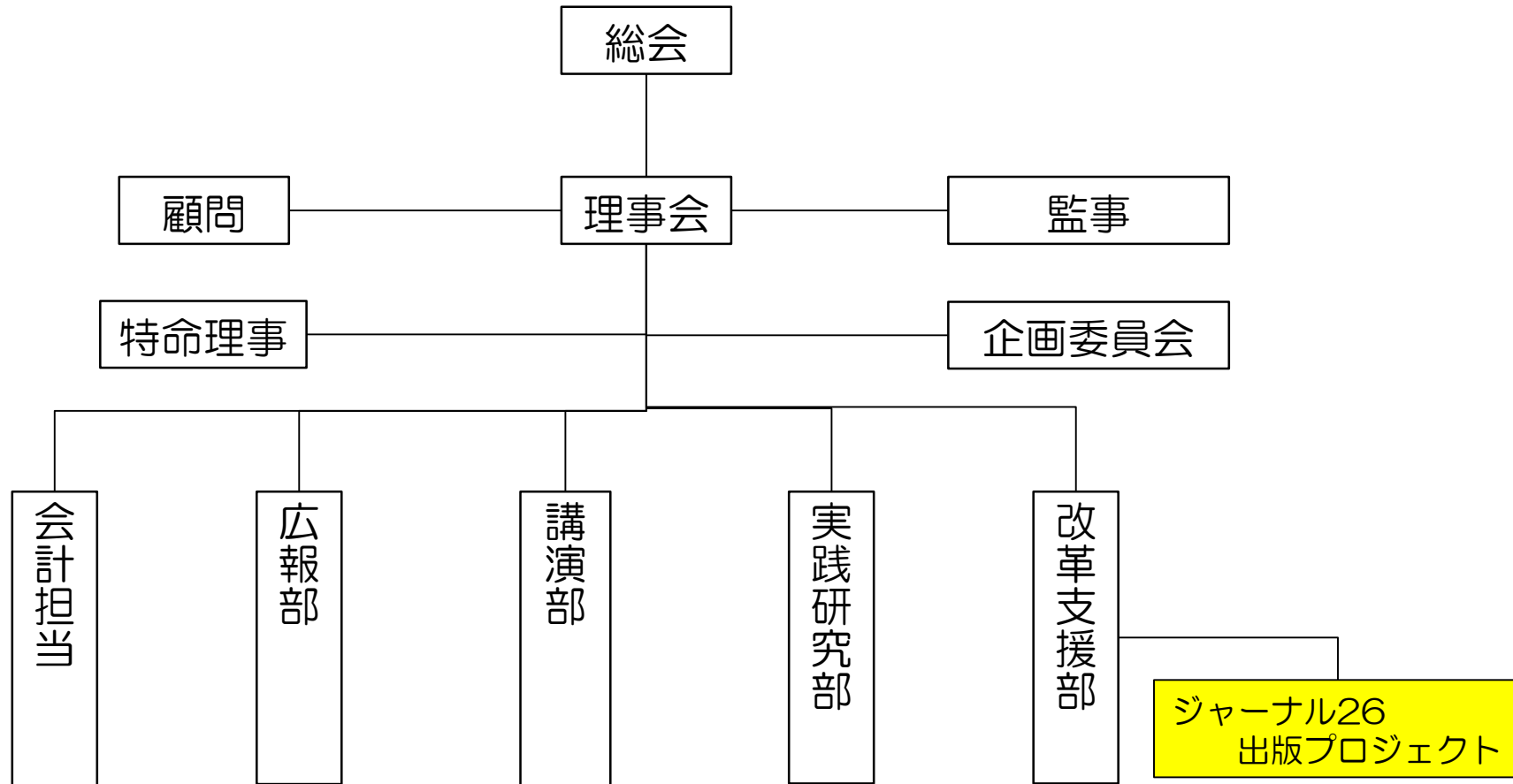
### 「JQAA活動の変革と価値創造」

～大胆な企画と活動で、JQAAの認知度を高めていく～

## <重点項目>

- ① 中小企業等現場における改革支援の推進
- ② 講演の「さらなる質の追求」
- ③ JQAA Webと通信による情報発信の強化
- ④ JQAAアセッサージャーナル26号の発刊

# 2018年度組織体制





## ■ 方針

- 中小企業現場の改革支援、地域組織の活性化支援、並びに経営革新者の能力向上を目的に、確実な成果に結びつく活動を地道に行う。
- 経営品質協議会、地域の経営品質協議会、並びにJQAA特命理事と協働して、企業事例を中心としたアセッサージャーナル26号を発刊する。

## ■ 計画概要

- JQAAのWeb、JQAAジャーナル誌、諸講座、研究会等を活用して、現場改革の専門スキルを有する当部所属の運営委員の認知向上に取り組む。
- 中小企業等とコンタクトを持ち、現場の改革支援活動に取り組む。
- 引き続き、関東近県の経営品質協議会と連携して活動し、その成果を各地域に波及・展開していく。
- アセッサージャーナル26号は、2018年度顧客価値経営フォーラム（2019年2月開催）での販売を目標に取り組む。

## ■ 方針

- 経営品質の実効力を高め、理論・ノウハウ・事例を学ぶ
  - ✓ 法人・組織の運営マネジメントおよび経営革新に関する気付きの場
  - ✓ 参加いただく方々の交流の場

## ■ 計画概要

- 講演会での「新たな価値創造へのお役立ち」
- JQA参画人口増加のための探索

## ■ 方針

- 各参加者が自社の取組みを語り、参加者全員が対話を通じてメンバーの課題明確化や解決を支援することにより、相互の気づきによる研鑽の場として、実践研究会を活性化させていく。
- 参加者の組織の経営革新を促進させながら、参加者の人的ネットワークを構築する。

## ■ 計画概要

実施期間：2018年6月～2019年1月迄 毎月1回開催

会場：都内

会費：年間1万円（運営諸経費等／年）

募集人数：5～10名位各

部会の進め方：各自が議題や自社の取組みを発表

→メンバー間で質疑応答・議論を行い、課題解決のヒント・気づきを得る

→課題や改革阻害要因の明確化、成功要因や改革成功のポイントを学ぶ

# 広報部 2018年度活動計画

## ■ 方針

- アセッサー資格研鑽を目指す方々へ適確に広報し、協創（共創）の場づくり、知識・知恵・情報の提供に努める。
- 各部と連携し、各活動の集客を支援する。

## ■ 計画概要

- Web (<http://jqaa-net.com/>) の運用方法・役割の標準化
- Webへの魅力的コンテンツの掲載
- JQAA通信の魅力向上（アセッサーの興味を引く記事探し、更なる短縮化など）
- JQACとの連携強化（審査員の魅力発信、JQACアセッサーアンケート活用、JQAA認知度の向上など）
- アセッサー同士が気軽にコミュニケーションできる場の検討
- 広報部の活動がどれだけ役立っているのか、把握方法の検討

# 2018年度収支計画

収入の部	
①講座・講演・研究会及び中小企業改革支援活動 講演（5回/年）、実践研究会（12期）等	750,000
②広報・出版活動	300,000
③その他雑収入	0
合計	1,050,000
2. 支出の部	
①講座・講演・研究会及び中小企業改革支援活動	800,000
②広報・出版活動	200,000
③その他支出（総会、理事会会議室、交通費等）	400,000
合計	1,400,000
収支合計	▲350,000
3. 前期からの繰越金	1,727,523
4. 残高（繰越金）	1,377,523

## 役員を選任

- ① 役員候補受付・紹介
- ② 役員選出
- ③ 新役員挨拶

# 役員を選任

役員退任に伴い、役員を選任を行いたい。

## 退任役員 (敬称略 50音順)

	氏名
理事	小田川 賢太郎
理事	杉浦 正宣※
理事	武谷 一寿※
理事	伴野 亮
理事	中野 康範
理事	松野 幹孝
監事	吉川 博章

※ 任期（2年）途中のため、辞任

## 役員候補者

(敬称略 50音順)

	氏名
理事	小田川 賢太郎
理事	中野 康範
理事	松野 幹孝
理事	古望 高芳
理事	根本 敦
監事	吉川 博章



# 2018年度体制（案）

理事：14名、監事：2名、顧問：1名、特命監事：7名

（敬称略50音順）

	氏名
理事	大川 幸弘
理事	奥田 啓之
理事	小田川 賢太郎
理事	加藤 友成
理事	小林 慶久
理事	古望 高芳
理事	渋谷 照夫
理事	末吉 進

特命理事	三宅 邦之
特命理事	高橋 清
特命理事	武谷 一寿
特命理事	五味 由紀子

	氏名
理事	瀬川 和彦
理事	中野 康範
理事	根本 敦
理事	平本 洋
理事	松野 幹孝
理事	道添 順一
監事	校條 亮治
監事	吉川 博章
顧問	岡本 正耿

特命理事	平井 嘉人
特命理事	畑 薫
特命理事	鑪野 秀康

# 2018年度JQAA体制

## (役員選任議案承認後)

於 日本生産性本部

2018年4月23日 (月)

# 2018年度体制

理事：14名、監事：2名、顧問：1名、特命監事：7名

(敬称略50音順)

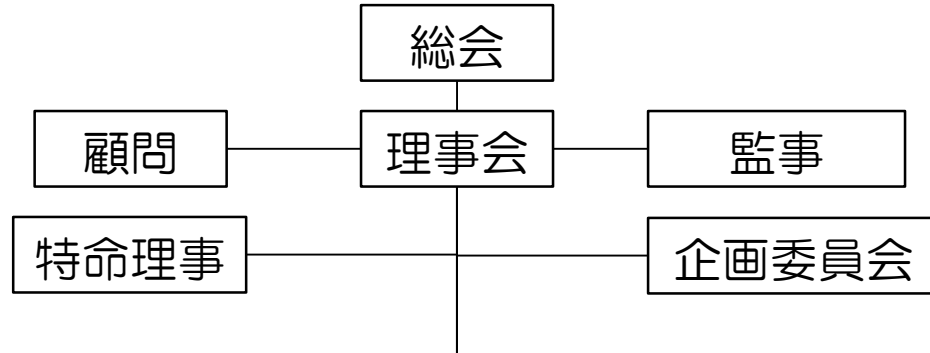
	氏名
理事長	道添 順一
副理事長	大川 幸弘
副理事長	平本 洋
副理事長	加藤 友成
副理事長	小林 慶久
理事	奥田 啓之
理事	小田川 賢太郎
理事	古望 高芳

特命理事	三宅 邦之
特命理事	高橋 清
特命理事	武谷 一寿
特命理事	五味 由紀子

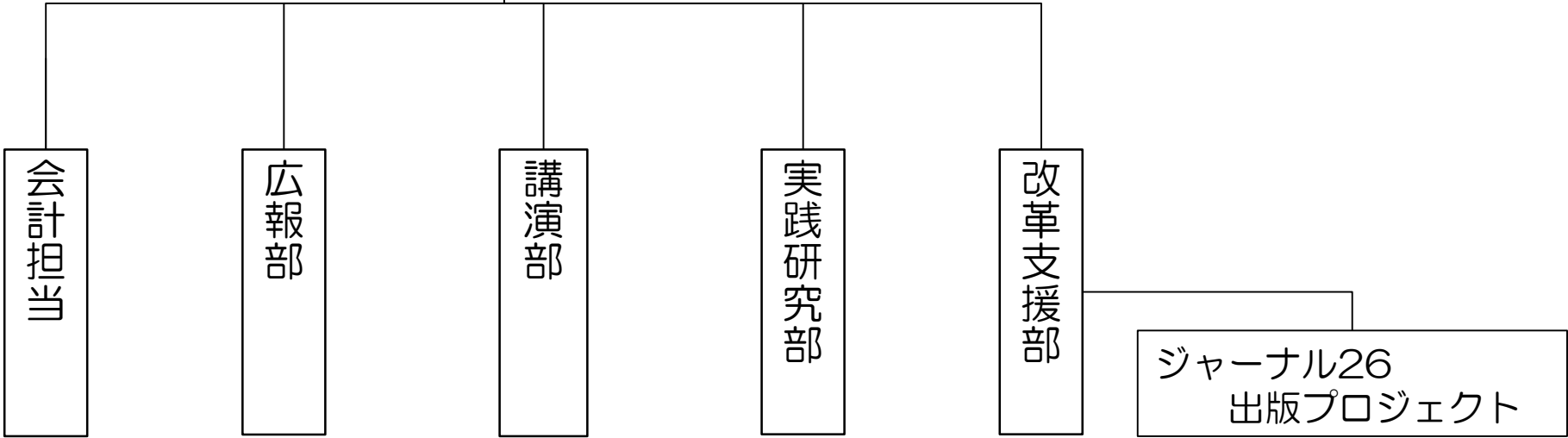
	氏名
理事	渋谷 照夫
理事	末吉 進
理事	瀬川 和彦
理事	中野 康範
理事	根本 敦
理事	松野 幹孝
監事	校條 亮治
監事	吉川 博章
顧問	岡本 正耿

特命理事	平井 嘉人
特命理事	畑 薫
特命理事	鑪野 秀康

# 2018年度組織体制



理事長：道添順一  
 副理事長：大川幸弘、平本洋、小林慶久、加藤友成  
 理事：奥田啓之、小田川賢太郎、古望高芳、渋谷照夫、末吉進、瀬川和彦、中野康範、根本敦、松野幹孝  
 監事：校條亮治、吉川博章  
 顧問：岡本正耿  
 特命理事：三宅邦之、高橋清、五味由紀子、武谷一寿、平井嘉人、畑薫、鑪野秀康



平本 洋

中野康範  
奥田啓之  
小田川 賢太郎  
根本 敦

加藤友成  
渋谷照夫

瀬川和彦  
松野幹孝

小林慶久  
末吉 進  
古望高芳

小林慶久  
理事長  
副理事長  
各部長  
特命理事

※太字・下線は部長